

物質の第4の状態:液晶 液晶=ディスプレイではない!

日時:平成29年12月16日(土) 15:00 ~ 16:30

場所:池田商工会議所 2階会議室
(C+D 会議室)

大阪府池田市城南1丁目1番1号

対象:一般、高校生以上

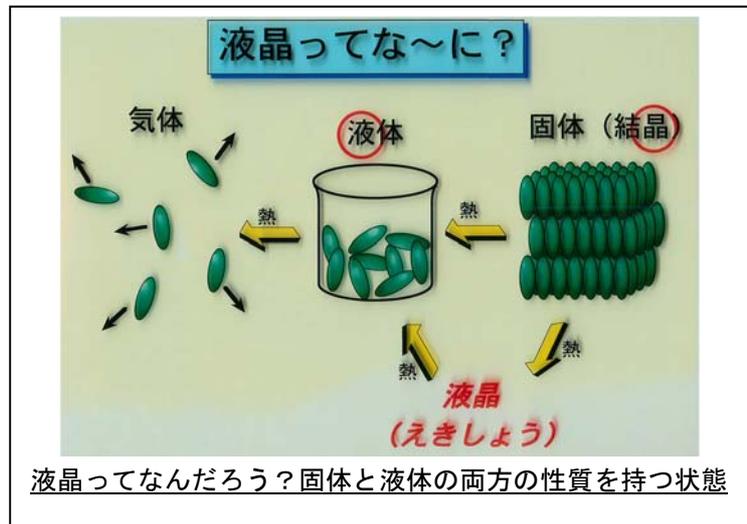
参加費:無料

(ドリンク、お菓子をご用意しています)

定員:40名

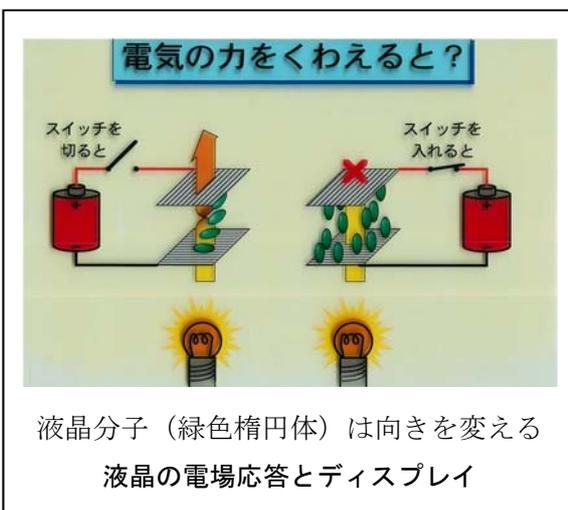
〆切:12月15日(金)

講師:奈良先端科学技術大学院大学
清水 洋 先生



「液晶」と言えば TV やスマートフォンなどの「ディスプレイ」と思っている方が多いのですが、「液晶」というのは物質の示す3態(固体、液体、気体)に対する第4の状態という特別な物質の状態です。我々は日常の中で固体は温度を上げれば融けて液体に、液体は温度を上げると気体になることを知っています。水がその良い例です。物質は原子の集合体であり炭素(C)や水素(H)、酸素(O)といったそれぞれ異なる性質を示すことに基づく原子が化学結合により結び付けられた分子からなっている場合があります。この分子がある条件を持てば、ある温度では固体である温度では液体なのですが固体と液体の間にもう一つの状態が現れる場合があってそれが液晶とよばれます。

このカフェでは、液晶の科学と何故これが液晶ディスプレイとしてフラットパネルディスプレイの礎を築いたのか、皆様にご紹介していきたいと思っております。



主催:国立研究開発法人 産業技術総合研究所関西センター

後援:池田商工会議所 協賛:日本液晶学会

【詳細・申込み先】

<http://www.aist.go.jp/kansai/>

(このホームページから申込んで下さい)

【問い合わせ先】

産業技術総合研究所 関西センター

(大阪府池田市緑丘1-8-31)

産学官連携推進室 kansai-cafe-ml@aist.go.jp